

白金・白金台地域に相乗りタクシー

共産党区議団が力を注ぎ、実現へ！

町会の請願が区政を動かす



3カ月間運行実験

2018年度（平成30年度）予算案に、白金・白金台地域にデマンド型相乗りタクシー（自宅や指定の場所から目的地まで、必要な時にスマートフォンで呼び出して、利用できる公共交通サービス）を運行するためのモニター実験の予算が組まれました。3カ月間運行実験を行い、その結果を分析し、本格運行を目指すこととなります。

2015年（平成27年）第3回定例区議会に、白金三光第六町会から、「白金地域に『港区』ミニコミュニティバス』の運行を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。

党区議団は、請願の採択に力を注ぐとともに、「ちいばす」が走っていない交通不便地域の解消のため、全国で展開されている乗り合いタクシーの運行を提案してきました。

2018年度予算案では、港区総合交通戦略（以下「交通戦略」という。）で交通不便地域に位置付けた白金・白金台地域の新規交通手段として、移動制約者（70歳以上の高

齢者、障害者、妊産婦等）を対象に、一般タクシーの無料配車アプリを使った、デマンド型相乗りタクシーを実現するモニター実験をすることになりました。

白金・白金台地域は狭い道路が多く、バス停を設置する場所もないため、狭い道路でも対応できるタクシーを利用できないかの検討を進めた結果、区内を拠点に運行している国際自動車が開発した「スマホアプリフルクル」を利用した実証実験を行うことになりました。

2〜4人で乗車し、同じ場所以降の仕組みになります。利用者には初乗り運賃410円（チケットを支給）までは無料、それを超えた分は自己負担となります。

モニター登録 4人一組で100組

今後、町会等に説明し、モニター登録者を募ります。白金・白金台地域居住の移動制約者4人一組でモニター登録をしてもらいます。



このピラへのご意見や日本共産党への要望などありましたら遠慮なくお寄せください。

日本共産党港区議員団ニュース
2018年2月号外

港区芝公園1-5-25 電話(3578)2945~6

<http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp>

港区議団

検索

なんでも相談会

困った時は すぐ相談を！ お気軽にご連絡下さい。